

〈入試科目の見方〉

各入試の○が受験科目になります。

電子オルガンコース

試験科目	内容	注記	A	同 特 出 願	特 待 生	公 募 推 薦	一 般
1 主科実技課題	楽曲演奏 自由曲1曲を演奏する。	※1：暗譜でなくてもよい。 ※2：楽曲演奏の使用機種は、以下の中から出願の際に選択する。 ・YAMAHA ELS-02C ・YAMAHA ELS-01C ・YAMAHA ELS-01XU ・YAMAHA EL-900m ・KAWAI DT9 ・KAWAI DT7 ・Roland AT-900C ・Roland AT-80S ・データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。 ・当日使用可能な記憶メディアについてELS-02C・01C・01XU（ステージ）で使用可能なメディア（ストレージ）は、USBフラッシュメモリーのみです。スマートメディア、フロッピーディスクは使用不可ですのでご注意ください。 ・使用機種につきまして、追加・変更がある場合は本学ホームページ等でお知らせいたします。	○	○	○	○	○
2 楽典	筆記試験（60分）		○	○	○	○	○
3 ソルフェージュ課題	以下の(a)～(c)のいずれか1つを選択する (a) 旋律聴音2題 (b) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No.43c)、43f)、48a)、50d)、52b)、55b)、57b)、58b)の中から1曲を当日指定 (c) 新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法は14ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	○
4 主科面接	主科に対する試問および出願書類（AO面接資料等）に関する内容を含む		○	○	○	○	○
5 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記を読む。試験当日に以下に示す課題の作文を書く。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない。持込不可）。／60分。 詳細は7ページに記載。			○	○		
6 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○		
7 一般科目	以下の(1)または(2)のいずれかを選択する (1) 本学で行う以下の一般科目(a)または(b)の中から1科目を選択して受験（45分） (a) 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ） (b) 国語（国語総合、ただし古文・漢文を除く） (2) 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)～(f)の中から1科目を採用 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※大学入試センター試験の成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については89ページを参照。					○

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウインドファンクションコース

声楽コース

音楽教養コース

合唱指導者コース

デジタルミュージックコース

ジャズコース

ポピュラー音楽コース

バレエコース

音楽と社会コース